

7 - 2 紀伊半島およびその周辺部の地震活動 (1996 年 4 月 ~ 6 月)

Seismic Activity in and around the Kii Peninsula (April-June, 1996)

東京大学地震研究所

地震地殻変動観測センター

和歌山地震観測所

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

今報告期間中の震源分布を第 1 図 (紀伊半島およびその周辺部), 第 2 図 (和歌山市, 有田市付近) に示す。期間中 (3 カ月間) に第 3 図の範囲内には $M \geq 3.5$ は 9 回 (前回 8 回) 起きている。内 1 回は京都府南部, 2 回は愛知県下に起こったもので観測網から外れている。№ 2 は兵庫県南部地震の余震で, 今期間中では最大のものであった。残り 5 回の内, 2 回が紀伊半島北西部の和歌山, 有田に起こった極浅発地震で, № 1 の和歌山市沿岸の地震では前震もあり, 活発な余震活動が見られた (第 2, 4 図参照), 前回報告したが, 昨年末に紀ノ川河口付近に活動(A)が見られたものが, 今回は南東に隣接した (約 2 km) 地域に起きている(B)。他の 3 回は地殻底下地震で最も大きかったのは№ 6 の伊賀上野付近の深い地震で震度 1 ながら近畿と東海地域の広範囲で有感を記録した。№ 4 の熊野地方の地震, № 7 の田辺付近の地震はともに $M = 4$ 程度で何れも通常の活動のみられる地域で発生したものである。全体的には静穏であった。メカニズム解の結果を第 3 図に示す。3 つの主な地殻底下地震は NE - SW 方向の主張力を示している。

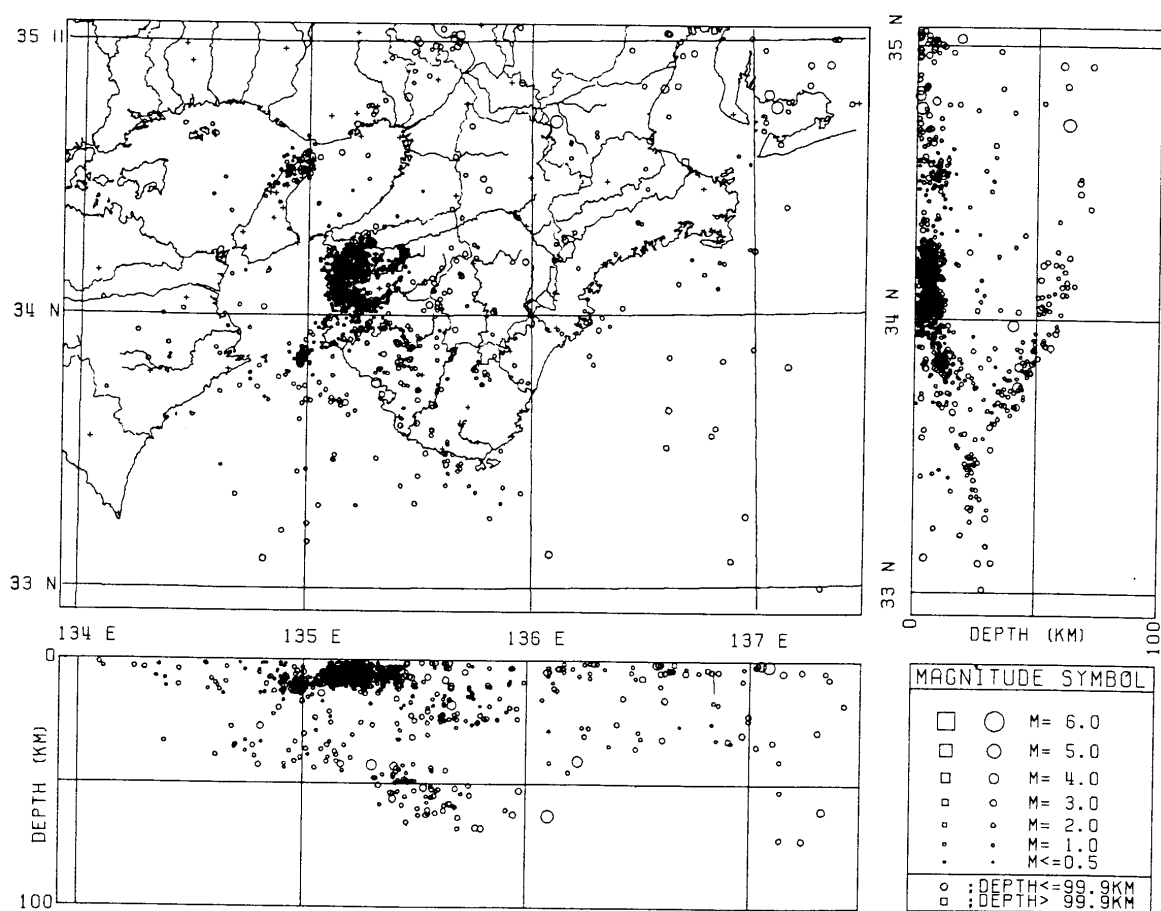
なお, M の値が気象庁 (大阪旬報, $M(\text{OMA})$ で表示) とかなりずれるものがある。特に地殻底下地震について差が大きいようである。方式が違うので調整する必要がある。

第 1 表 今期間中の $M \geq 3.5$ の震源表 (*は兵庫県南部地震の余震)

Table. 1 LiSt of Comparatively large earthquake ($M \geq 3.5$) in and near the Kii peninsula.

No. 1	1996/04/05	20H02M	H = 4 KM	$M = 4.1$	和歌山市沿岸	$M(\text{OMA}) = 3.9$
2 *	05/11	4 H46M	H = 11KM	$M = 3.6$	淡路島北部	$M(\text{OMA}) = 4.0$
3	05/29	17H37M	H = 18KM	$M = 3.8$	京都府南部	$M(\text{OMA}) = 3.9$
4	06/02	12H41M	H = 41KM	$M = 4.2$	三重県南部	$M(\text{OMA}) = 3.5$
5	06/08	16H24M	H = 2 KM	$M = 4.5$	愛知県	
6	06/09	01H46M	H = 63KM	$M = 4.7$	伊賀上野付近	$M(\text{OMA}) = 3.7$
7	06/12	20H44M	H = 43KM	$M = 4.1$	田辺市付近	$M(\text{OMA}) = 3.7$
8	06/15	12H16M	H = 1 KM	$M = 4.0$	愛知県	
9	06/19	09H50M	H = 8 KM	$M = 3.5$	有田市付近	$M(\text{OMA}) = 3.6$

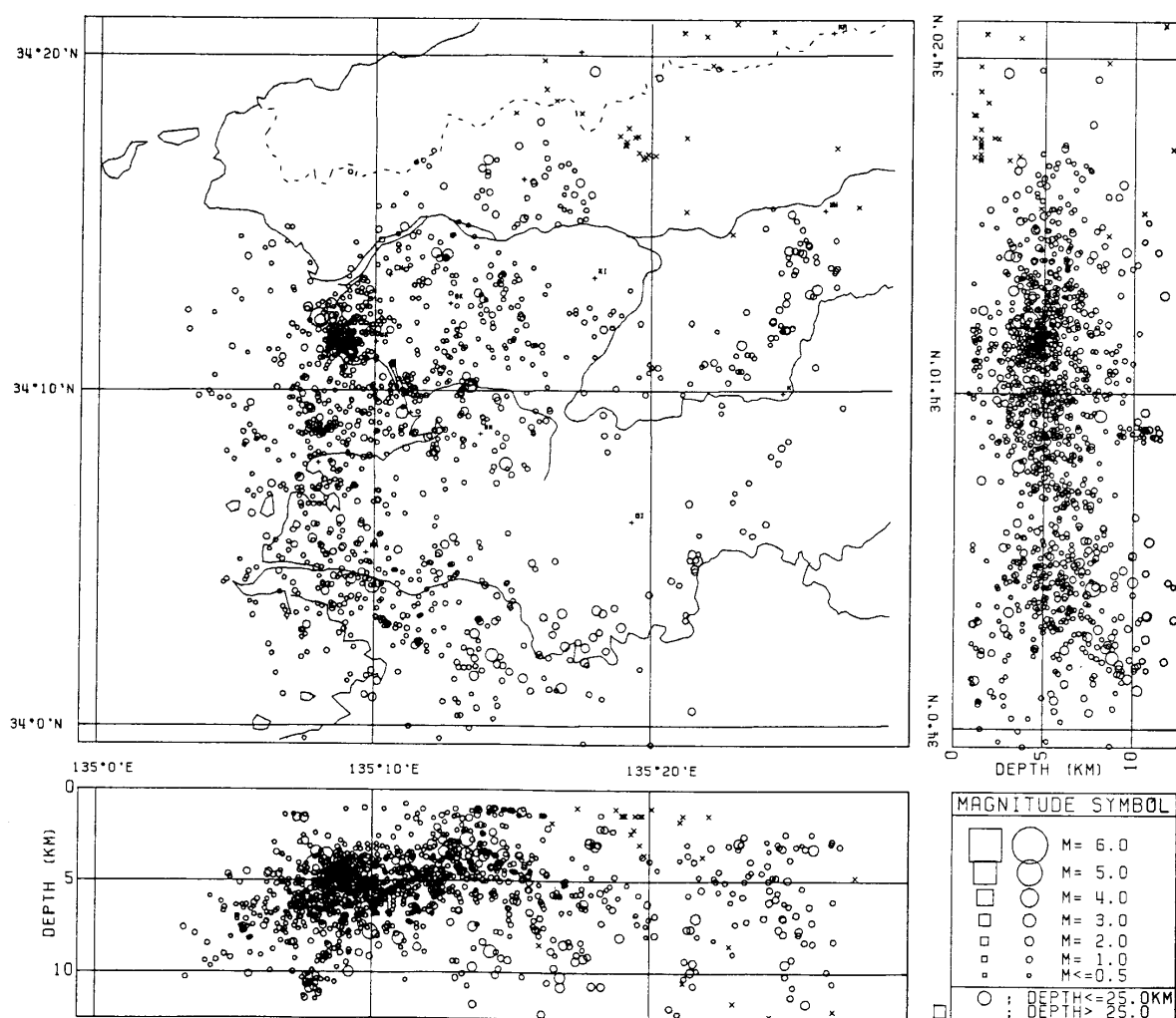
DISTRIBUTION OF EARTHQUAKES.
 PERIOD ; FROM 1996Y 4M 1D TO 1996Y 6M 30D
 NUMBER OF EARTHQUAKES ; 1810



第1図 紀伊半島およびその周辺部の震源分布図（1996年4～6月）

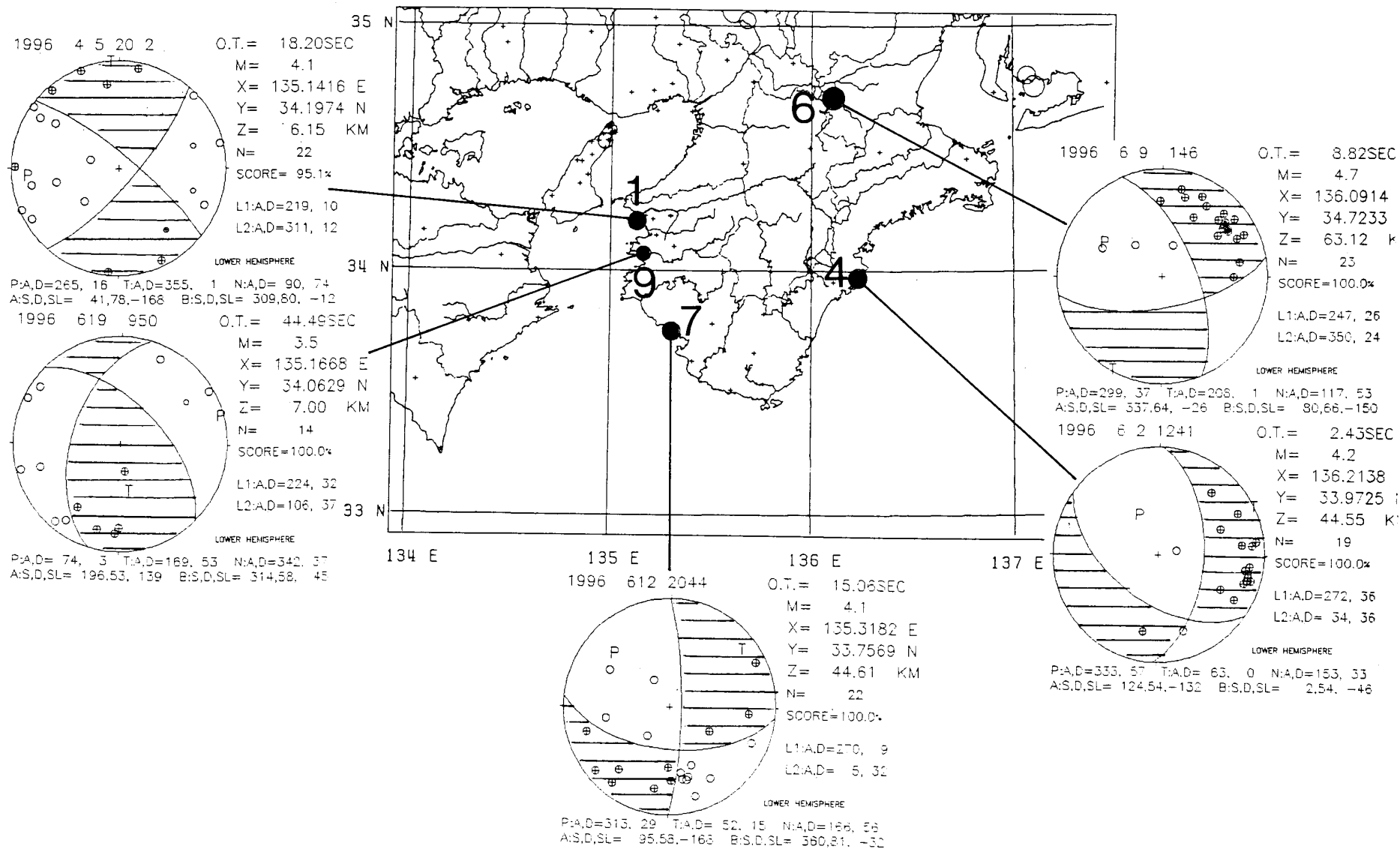
Fig. 1 Seismic activity in and around the Kii peninsula during the period Apr. - Jun., 1996.

DISTRIBUTION OF EARTHQUAKES.
 PERIOD ; FROM 1996Y 4M 1D TO 1996Y 6M 30D
 NUMBER OF EARTHQUAKES ; 1279



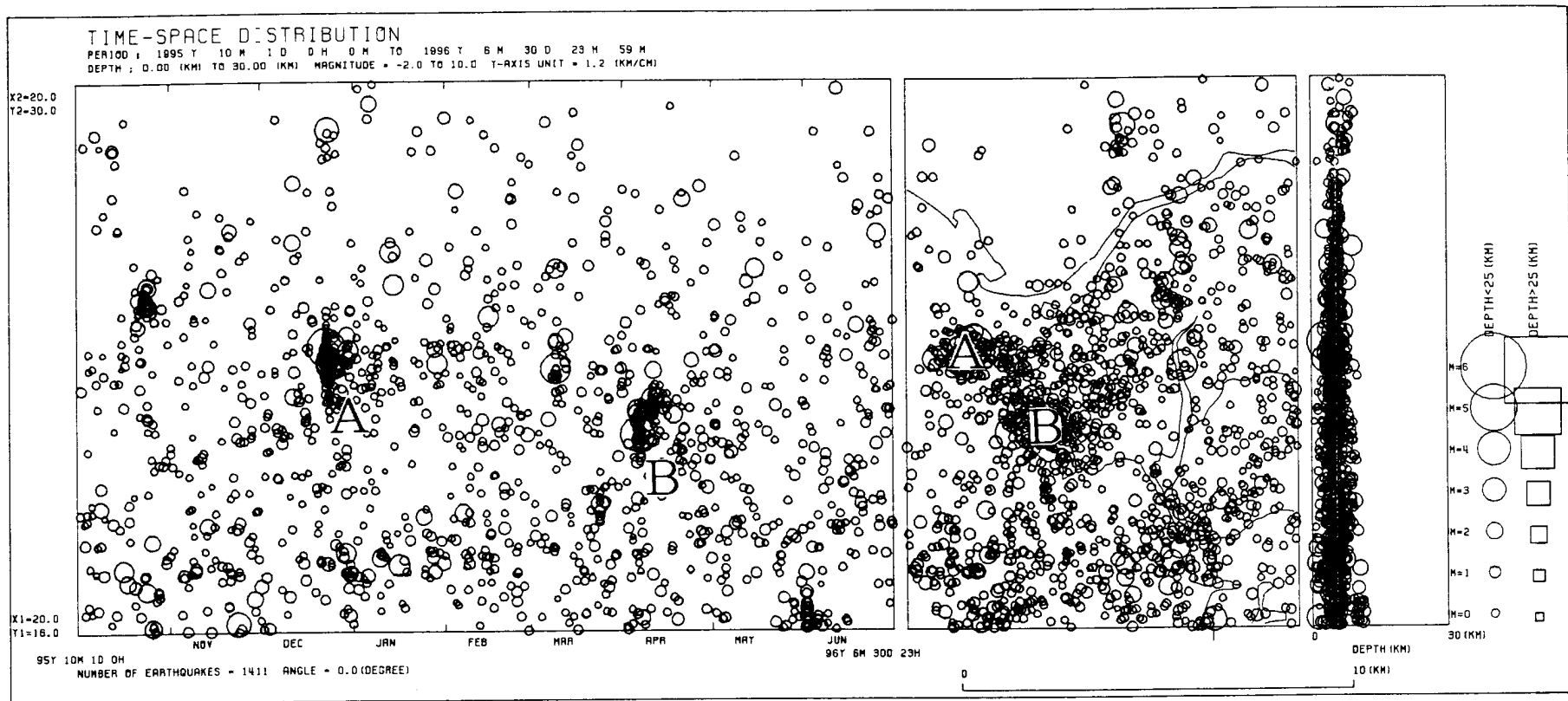
第2図 和歌山市，有田市と周辺部の震源分布図（1996年4～6月）

Fig. 2 Seismic activity in and around Wakayama city during the period Apr. - Jun., 1996.



第3図 今期間中の $M \geq 3.5$ の震央と主な地震のメカニズム解

Fig. 3 Distribution of Comparatively large earthquake ($M \geq 3.5$) and focal mechanism solutions in and around the Kii peninsula.



第4図 和歌山付近の地震の時系列図（南北断面に投影） A：DEC.1995 B：APR.1996

Fig. 4 Space - time distribution of earthquakes in the Wakayama city, during the period Oct.1995 - Jun.1996.